

教科	数学	単元名	一次関数とグラフ
----	----	-----	----------

## 本時のねらい

- ・ スマートフォンの料金プランのグラフを比較して、最適なプランを根拠と共に説明することができる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ 個々にワークシートで取り組んだことを学級全体においてリアルタイムで共有するために、授業支援ソフト（SKYMENU Cloud）の提出物・回収物の機能を活用する。
- ・ 提出したワークシートは全員が閲覧できるように設定しておき、短時間で多くの考えを共有・交流することができるよう工夫している。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ 授業支援ソフト（SKYMENU Cloud）
- ・ 大型モニタ

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○スマートフォンの料金プランの選択について、これまで学習してきた関数を活用し考察することを確認する。	○大型モニタにスマートフォンに関する写真を投影し、数理的に捉えていくことのきっかけとする。
展開 (35分)	○グラフの見方を確認する。 問「3つの料金プランのグラフで、データ使用量が5GB/月ならそれぞれ料金は何円？」 ○課題を確認する。 問「店員として、データ使用量が16GB前後/月のお客様に最適な料金プランを、納得して契約してもらえるよう資料を作成し、提案しよう。」【写真1】 ○班活動でお互いに意見を共有・交流しながら、対話的に取り組む。 ○他の班が作成した資料を閲覧して良いと思ったものを、理由と併せて発表する。【写真2】	○大型モニタを活用し、クラス全員でグラフの見方を確認する。 ○各班で取り組んだワークシートは、iPadで撮影してトリミング加工・サイズ調整し、SKYMENU Cloudの提出物・回収物の機能で提出する。 ○提出物・回収物の機能で提出した課題を自由に閲覧できるように設定することで、短時間で多くの見方や考え方、工夫に触れることができるようにする。
まとめ (10分)	○閲覧した他の班の資料や、他の班の発表を通して、参考になったものを自分たちの班で作成した資料に取り入れ、再提出する。【写真3】	○提出物・回収物の機能で再度提出することで、意見交流の前後での自身の意見の変化を比較して振り返ることができる。

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子

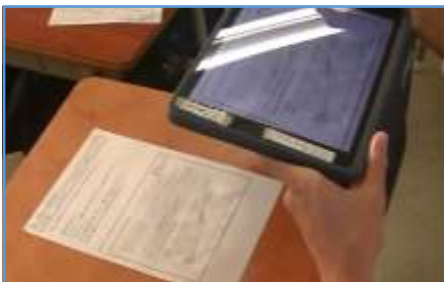


写真1：iPadで提出するために、ワークシートを撮影している様子



写真2：共有されている他の班の作品を閲覧している様子

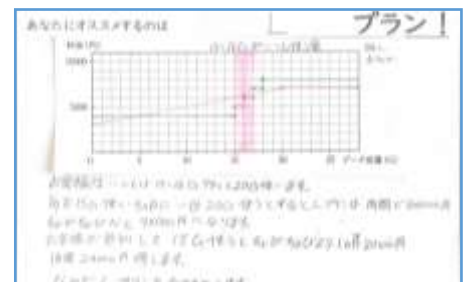


写真3：他の班の資料や発表を参考にして反映した発表資料

## 児童生徒の反応や変容

- ・ 各班で作成した資料を共有し自由に閲覧できるので、生徒は自分たちと同じ考え方で説明の仕方や資料の表現が上手な例を参考に、意欲的に取入れて改善する姿勢が見られた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ iPadを使用することで、自身の取り組みの発表や提出物の共有が短時間で効率的にできるようになる。
- ・ 取り組んだことをiPadを通して提出したり、提出されたものをすぐに全体で共有したりすることで、発言することが苦手な生徒の考えや、考えている途中で分からなくなったというような状況も交流することができる。そのような交流を通して、授業に深まりが生まれるため、iPadを活用することで学びが深まることを実感している。
- ・ 課題を直感的に捉えるためにグラフはワークシートへ記入することとし、意見交流を活性化させる手立てとしてiPadを活用することとした。ワークシートとiPadをベストミックスすることで、効果的に学べる授業を展開することができた。